



◆地域計画の概要

- [目的] 油川地域をよりあずましく暮らせる町とすること
- [期間] 令和8年度から令和12年度まで
- [区域] 青森市大字油川及び大字羽白の地域
- [主体] 油川コミュニティ協議会
- [手法] 参加型話し合い（ワークショップ）で話し合われた意見を取りまとめたものです。
- [意味] 住民の話し合いでつくりあげた地域計画です。この計画に盛り込まれた事業を住民が一つひとつ実践していくことにより、油川が、よりあずましい地域として発展することを期待しています。

油川がめざす町（こんな「町」にしたい）

- 1 子どもの成長を助ける町**  
家庭では家事を手伝い、地域の活動に親子で参加することにより、子供たちを健やかに育てましょう。
- 2 高齢者の安心を支える町**  
お年寄りの心に寄り添い、ともに暮らせる町にしましょう。
- 3 地域と暮らしをつなぐ町**  
地域を知ること、あいさつでご近所を知ることから、元気で住みよい町をつくりましょう。
- 4 文化とスポーツを大切にする町**  
青森発祥の地、油川。その物語を子供たちに伝えましょう。スポーツや文化でがんばっている人を地域みんなで応援しましょう。
- 5 地域の安全安心を守る町**  
安心は安全から。危険なところがないか、安全のためにできることから行動しましょう。



油川地域のいいところ

自慢の逸品がある町

- 堀川せんべい店
- 西田酒造店（田酒）
- むつみ窯
- ひまわりベーカリー
- あおぞら総菜（お弁当屋さん）
- 三浦醸造
- ふくやま菓子店
- 山神（ホタテの養殖から加工）
- 番屋

自然がゆたかで美しい町

- 油川港、天内川に白鳥が来る
- たくさんの田んぼ
- 又八沼のシナイモツゴ（北限）
- 野木和公園の桜祭りと湖、ヘラブナ
- 油川ふるさと海水浴場があり、夏場でも楽しめる
- のどかな風景、生き物の種類が多い
- 小学校で田んぼ実習をしている
- 油川の山は色々なキノコあり

人と人のつながりがある町

- 地域愛を持って人が多い
- 地域全体で盆踊りをしている
- 新油川音頭、外ヶ浜音頭
- かかしフェスタ de Aburakawaの開催
- 子どもねふたなどの合同運行を7月に行っている
- 各町会でゴミ拾いをしている
- 商店会を中心とした地域のつながりが強い
- イベントなど地域のために協力的な人が多い
- 北高のスポーツ部活動が強い
- 油川市民センター祭り
- 三世交代餅つき大会
- いろいろなイベントがある

青森の歴史の始まりの町

- 青森町の前から栄えていた最も歴史のある町
- 青森発祥の地
- ねふた発祥の町
- 熊野宮の鳥居は大理石製
- 由緒ある神輿
- 青森港を開発した森山弥七郎の供養碑や地蔵堂がある浄満寺
- 羽州街道と松前街道の分岐点（中世貿易の拠点）
- イタリア人ファブリーの供養碑がある明誓寺。明誓寺鐘堂
- 先祖代々から住んでいる人が多い町
- 津軽森林鉄道の軌道の跡
- 横町町会獅子舞保存会
- 八十八ヶ所霊場信導院
- 旧青森（油川）飛行場があった町

住みやすい町

- 高齢者の福祉施設が多い
- 高齢者が安心して住める
- 下水道や融流雪溝などのインフラ整備が進んでいる
- 幼稚園、小、中、高校が1つの地域の中にあり、教育環境が良い
- 医療施設が充実している
- J Aの産直がある（安くて新鮮）

油川地域の課題・問題点

子どもの成長に関すること

- 子どもがあまり外で遊ばなくなった
- 子ども会活動が伸び悩んでいる
- 子どもねふたがなくなりそう
- 小・中・高校間や地域との交流が少ない
- 学校の部活動がクラブ活動に移行したが、地域の指導者が不足している。

文化やスポーツに関すること

- 年月が経つと地域の歴史が忘れられる
- 野木和公園、海水浴場の有効利用がされていない
- ネプタの笛、太鼓、カネを教えてくれる場の参加方法が分からない
- 油川の文化財の価値に気づいていない人が多い

地域の安心安全に関すること

- 除雪が不十分な道路がある。バス通りは特に念入りに除雪する必要がある。
- 一部に暗い場所などがあり危険を感じる（街灯が少ない）
- 人が住んでいない家の屋根雪など、空き家による被害が心配
- 野木和公園でのサル出没による安全不安
- 市街地での熊出没による安全確保の不安
- 雨が強いときは、洪水になる
- 景観が悪い
- 道路が狭く危険

高齢者の安心な暮らしに関すること

- 一人暮らしの老人の不安が大きい
- 除雪の負担が大きい
- 車を運転できないと買い物に行くのが大変
- 年をとると情報に疎くなる

地域と暮らしに関すること

- 雪かきトラブルが時々ある
- 若年層が少なく、町会の高齢化が進んでいる
- 若い子育て世代の地域活動への参加が少ない
- ご近所付き合いが薄れてきている
- 地域の人達と交流する機会が少ない
- 町会に協力・参加する人が限られている
- 町会の会員、民生委員・児童委員のなり手不足
- 電車の本数が少なく、待ち時間に立寄れる交流場が近くにない

地域はもともと「つながり」

1 子どもの成長を助ける町
清掃活動の参加を実施する
通学児を見守る
子供ねふたの参加者を増やし、盛り上げる
学校と地域が連携しながら、多世代が交流できる様々なイベントを企画・実施する
学校行事にボランティアとして参加できる機会を増やす
2 高齢者の安心を支える町
ボランティア（主に学生）の呼びかけをする
地域ボランティア（若者中心）で高齢者の家の除雪作業をする
畑等の管理が大変な農家の支援
高齢者のスポーツ大会を開催し、交流の場をつくる
若者が講師となり、高齢者向けのスマホ教室を開催する
移動に不自由な高齢者が、買い物バスを利用できるよう協力する
移動販売を増やすために、サービスが必要な世帯を把握する
3 地域と暮らしをつなぐ町
地域情報を提供する
協議会主催の行事を開催し、住民同士が知り合う場をつくる
地元企業や商店の見学ツアー
子ども達や地域の人達と協力して、油川魅力マップやパンフレットを作成する
子どもと町会の魅力を語る交流会を開催する



4 文化とスポーツを大切にする町
町内（野木和公園）ウォーキングをする
野木和公園の桜や未活用エリアなど地域資源を活かしたイベントを開催する（例えば、フリーマーケット・BBQ・ピクニックなど）
野木和公園のゴミ拾いなどを定期的実施する
地域全体の盆踊りを継続する
地域の探訪ツアーを開催する
油川の歴史や魅力を地域の人から聞き取り、子どもたちにわかりやすい内容で伝え残す
海水浴場を活用したイベントを実施する（地引き網体験・BBQ・ピクニックなど）
海をキレイにする活動として、海開き前後にゴミ拾いを実施する
横町獅子舞の後継者を育成する（獅子舞の復活）
市民センターまつりで芸能発表する
新油川音頭と外ヶ浜音頭の講習会を開催
地元の学校のスポーツを応援する
青森四国八十八ヶ所霊場探訪を開催する
かかしフェスタ de Aburakawaへの参加・協力・支援を行う
又八沼のシナイモツゴを守る活動
若者向けの田植え、稲刈りの体験会や農作業の手伝いツアーを開催する
油川に流れてくる水の大切さを学ぶ講座を開催する
油川の歴史・わが町のお宝展示会を実施する
あぶらかわ自然写真コンテスト
5 地域の安全安心を守る町
小・中・高校、油川地域の住民全員が連携し、油川みんなの防災訓練を強化して防災意識を高める
青森県防災センター見学体験
あいさつ運動
地域の安全マップや散策コースマップを作成する
地域住民や学校、関係機関（市・警察）と連携し、クマ出没時の対応方法についての周知徹底を図る



実施時期
令和8年度中に取り組む・継続実施する
計画期間内(5年間)の実施を目指す
計画期間内(5年間)に方向性を決める

